



米軍ヘリが小学校に窓枠を落とした・・・

十二月十三日、米軍普天間基地所属の大型ヘリコプターCH53が、基地の隣の普天間第二小学校上空を飛行。一m四方、8kg近い窓枠を校庭に落とした。跳ねた石が児童に当たった。児童に窓枠が当たったら死ぬ所だった。

米海兵隊太平洋基地司令官は13日、県庁を訪問、謝罪。曰く「県民に不安を与えたことに、全海兵隊を代表しておわびする(沖縄タイムス)。普天間基地内の米軍住宅の子供の上に窓枠を落としたら謝って済むことなのか？」

続く事故

直前の七日には計器

ますか？

のカバーのプラスチック部品が普天間の緑ヶ丘保育園に落とされた。更に、別の同型機が十月十一日に東村の農地に墜落炎上。司令官が号令しても米軍はたるみきったままではないか？

基地の周りに学校が？

NHKのニュースで「普天間基地の周りに学校、幼稚園、保育園が集中している」と報道があった。違つ。ハーグ陸戦条約に反して、米軍は住民の家土地を奪って基地を作った。だから基地のすぐ傍に学校、保育園を作らざるを得なかったのだ。空を飛ぶ飛行機は落ちることがある。だから、こんな所に基地を作ってはいけないのでは？

皆さんはどう思われますか？



ここは串本、向かいは大島

ひがしむろぐん
和歌山県東牟婁郡串本町 串本漁港防波堤赤灯台から

2017年11月

「ここは串本、向かいは大島、仲をとりもつ巡航船、アラ ヨイ ショ ヨイ ショ ヨイ ショ ...」と串本節にある。

向かいに見えるのが「紀伊大島」。

明治政府は親善訪問の軍艦をヨーロッパに派遣。オスマントルコは答礼として軍艦エルトゥールル号を日本に派遣した(一八九〇年)。

その帰途に、エルトゥールル号は台風に遭い、大島の左の端、檜野崎で沈没。この時、村人総出で救出に当たり六九人を救出した。

他の乗員約五百八十人の遺体は救われたトルコ軍士官の立会のもと檜野崎の丘に埋葬された。今、そこには慰霊碑が建てられている。

このような経過からトルコの人々は日本に特別の好感を抱いているという。

